成蹊大学新聞

発行所　成蹊大学新聞会
〒180－8633　東京都武蔵野市吉祥寺北町3－3－1 成蹊大学内
電話 090－8744－2926
E-mail:seikeipress@hotmail.com
発行人　細野　晴香
編集人　佐藤　遼平
（1950年7月7日創刊）

授業回数14回に

土曜日に補講・振り替え

来年度学年暦が12月中旬に大学評議会で正式に決定する。学生に公布するのは1月中旬。学年暦の内容は授業回数の確保を目的として、今年度よりも大幅に変更される予定となっている。

来年度の授業回数が前後期ともに、今年度の13回から14回となる。また、それを確保するために土曜日に、振り替え授業や補講日を設ける予定だ。さらに祝日に関しては、月曜日だけではなく火曜日の一部にも授業と定期試験を実施することとなっている。

学内行事では、欅祭の開催期間が今年度と同様に2日間となった。四大学運動競技大会（四大戦）の本戦は、10月の第4週に行われる予定だ。また、レガッタや学内陸上競技大会などのイベントの日程は、12月中には最終的な決定となる。

今回、学年暦の決定に際して焦点となったのが授業回数の確保だ。近年のハッピーマンデー法の制定や祝日法の改正、行事の日程の関係で授業回数が減少してしまう。この問題への対処が話し合われた。

議論の前提にされたのは、授業回数が増加してもできるだけ夏期休暇の短縮は行わないということ。これは、学生のインターンシップや就職活動、海外留学などの日程と重ならないようにするためだ。

▼学年暦決定の流れ

学年暦の作成は5月から始まる。10月までに全学教務委員会が原案を作成し、学部長懇談会で審議される。そして12月に、大学の最高決定機関である大学評議会で、学年暦が正式に決定される。

大学行事は会場の確保や四大戦開催校の都合などを考慮して決まる。レガッタは戸田オリンピックボート場へ申請を行い、他大学や企業、連盟などと日程調整を行う。学内陸上競技大会は、レガッタと曜日が重ならないようにレガッタの日程が決定してから開催日が確定する。

全学教務委員会は学長が任命する委員長、各学部から選定された教務担当の教授2人と授業課長で構成。大学評議会には学長、学部長、法務研究科長、各学部から評議員に選ばれた教授2人によって構成されている。

▼記者の目

土曜日の補講は05年度にも実施されている。しかし、教員が学会や他大学の講義で都合の合わないことが多く、補講ができないこともあった。したがって昨年度から土曜日の補講は行っていない。それにもかかわらず、来年度に再び土曜日に補講を行うのは、同様の問題が発生しる可能性があるのではないか。大学側には、この問題点の早急な改善が求められる。

では、学年暦の決定に学生の意見はどこまで反映されているのだろうか。学務部によると、教育的立場から学年暦を作成しているので学生の意見を取り入れることは難しいという。実際、会議に学生が参加するということはない。

しかし、欅祭期間の短縮はもちろん土曜日の補講は、団体の大会や公演などと日程が重なり学生の課外活動の抑制になってしまうとの声も聞かれる。さらに欅祭本部、文化会、体育会が合同で、欅祭を3日間に戻してほしいという陳情書を大学に提出している。こうした学生からの要望が上がっているが、来年度の学年暦には生かされていないのが現状だ。

学生が実際に1年間を過ごす学年暦。それだけに積極的な意見交換をしてお互いに納得のいくものにしてもらいたい。（佐藤遼平）

●ハッピーマンデー法

国民の祝日の一部を従来の日付けから月曜日に移動した法案。週休2日制の導入を受けて、月曜日を休日にすることで3連休の余暇を過ごせるようにという主旨で制定された。

07年度 就職内定率82%

企業の採用数が増加

キャリア支援センターが、今年度の就職内定率（就職希望者中の就職内定者の割合）の中間結果を発表した。4学部全体の就職内定率は、11月1日現在で82%と、昨年の同じ時期と同水準を維持した。

学部別就職内定率は、経済学部78%、文学部87%、法学部78%、工学部89%となっている。男女別では、男子が就職希望者750人に対して79%の590人、女子は就職希望者762人に対して86%の657人が内定を得た。

▼主な就職先

文系女子は例年通り、金融業への内定者が多く、みずほ銀行や三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行などに各社10人以上が内定。また、東京海上日動火災保険や損害保険ジャパン、三井住友海上火災保険などの保険会社からも多くの内定を得た。さらに今年は資生堂、シャープ、東芝など製造業に総合職での採用もあった。

文系男子もみずほ銀行をはじめとする金融業や保険会社に多くの内定者が出た。女子に比べてほかの業界への内定者の割合も多く、三菱電機ビルテクノサービスや凸版印刷などにも内定者を得ている。

理系は男女ともにNECソフトや東京海上日動システムズ、東芝、三菱電機、本田技研工業、キヤノン、横河電機などに内定。IT業界や製造業への内定者が7割に上った。

▼今年度の傾向

今年度も団塊の世代の定年退職や、景気回復を背景として企業の採用数が増加した。リクルートワークス研究所の発表によると、有効求人倍率は2・14倍と、16年ぶりに2倍を上回り、求人総数（推計）も93・3万人で過去最高の水準を記録した。

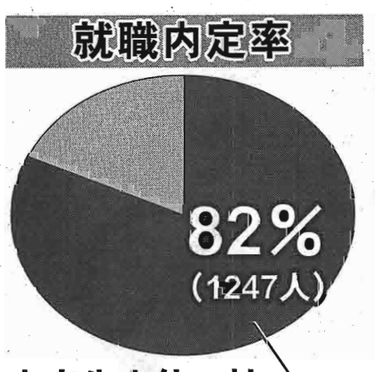
しかし、一方で10月時点で実際の内定者数が、企業の採用計画数を満たしていないという結果もある。これは採用枠を広げていても、基準を満たす学生でなければ内定を出さないという企業側の姿勢のためだ。また、優秀な人材を早く確保するため、各企業の就職セミナーの開始時期が10日から半月ほど早まっている傾向もある。

キャリア支援センターの秋庭正典部長は「数字だけ見ると学生には有利な時代だと言えるかもしれない。だからといって努力しないと、内定がまったく得られない事態になる。これから就職活動を始める3年生には就業意識を高め、悔いを残さない就職活動をするように心掛けてほしい」と語った。

▼本学の取り組み

企業の就職活動が大手を中心に早まっていることを受け、本学ではグループガイダンスの実施を10日ほど早めて10月下旬から行った。また、各業界の大手企業による学内セミナーも例年の2月の開催に加えて、11月下旬から12月上旬にも行われた。

秋庭部長は「学内セミナーは企業情報を得る絶好の場。積極的に参加して就職活動に生かしてほしい」と話した。（高島緑）



内定先上位5社

みずほ銀行	45人
損害保険ジャパン	32人
東京海上日動火災保険	31人
三井住友海上火災保険	28人
日本生命保険	19人

11月1日現在

雑学講座を開講

テーマは「美しかった日本へ」

11月16日、30日の2時限に「現代を生きる雑学講座『美しかった日本へ』」が開催された。場所は5号館102教室。

各回のテーマは、「成蹊大学の水から地球を見てみよう」と「格差固定社会と貧困から抜け出す」。この講座は文学部の授業の一環として実施された。一般の学生も参加可能。

第1回の担当講師は、元東京都環境衛生監視員の人見達雄氏だ。衛生監視員の経験をもとに、水問題について講義した。まず、災害時における水の確保は、身近な雨水や風呂の水などを飲料水として利用することを提案した。そこで、学生とペットボトルのろ過装置を作成。日頃から水の大切さを理解し、緊急時に備えてほしいと人見氏は力説した。

第2回は、東京大学教授の小森陽一氏。格差や貧困問題を取り上げ、今後どう取り組むべきかを解説した。

始めにワーキングプアによるシンポジウムを紹介。また法制度の改正などが、貧困層を含めた社会的弱者への規制を強めていると指摘する。小森氏は、今後こうした人々を支援するのは国の義務だと主張した。

主催の文学部の浅見和彦教授は「普段なかなか聞けない専門家の話を聞くのは貴重な経験です。学生にはこの講座を通して幅広い知識を身につけてほしい」とを語った。（茂木愛未）

格差について話す小森教授

広告研究会主催の「第28回ミス成蹊コンテスト」が欅祭2日目の11月25日に本館大講堂で行われた。ミス成蹊には村上萌さん（経済経営2）が、準ミス成蹊には矢住恵理子さん（国際文化2）が選ばれた。村上さんは1987年8月16日生まれのA型。趣味はスノーボード、旅行。ミスになったことについて「親友や周りの人たちの応援があったから。本当に感謝しています」と振り返った。

「建学の日」エッセイ

3月23日に発表会

「建学の日エッセイ」発表会が、3月23日の午後1時から行われる。場所は4号館ホールで、5号館102教室でも中継する予定だ。参加は自由で、一般の人も入場可能。最優秀賞、優秀賞の受賞者にはそれぞれ学園盾が贈られる。また受賞作品は、本学のホームページで閲覧できる。

「建学の日エッセイ」は、創設100周年に向け今年から始まった。「私の成蹊」をテーマに、学生がそれぞれの思いを語ってもらうことが目的だ。今後は3年に一度開催する予定。

問い合わせは総務課（soumu@jim.seikei.ac.jp）まで。（茂木愛未）

紙面から

2 本学に喫煙所は必要か？
3 「百花繚乱」の欅祭開催
4 ラクロス部男子1部昇格

成蹊音楽祭 来春に開催

学園創立100周年を記念して「成蹊音楽祭」が1月14日に行われる。テーマは「宇（いえ）は大なり」。場所は4号館で、午後12時半に開場。午後1時開演で午後4時45分終演予定だ。申し込みは必要ない。

音楽祭は2部構成で行われる。第1部では小学校、中学・高等学校、保護者、卒業生の各音楽団体が公演。最後は髙井優希さんら卒業生3人が、成蹊のOB・OGによるオーケストラ・コーラスの指揮をする。

高井さんは高校まで成蹊学園で過ごした後、東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。最近では、藤原歌劇団公演「ラ・ボエーム」で副指揮者を務めた。

第2部ではジャズ・トランペッターの市原ひかりさんの特別演奏会が行われる。市原さんは成蹊小中高校を卒業後、洗足学園音楽大学ジャズ・コースに進学。05年にメジャーデビューした。また第40回ジャズ・ディスク大賞のニュー・スター賞を受賞するなどの活躍を見せている。

広報課は「各学校は、同じキャンパスにありながらあまり交流がない。この音楽祭がお互いの活動を知るきっかけになってほしいと思う」と語った。問い合わせは広報課（0422－37－3517）まで。（佐藤遼平）

国際交流賞

受賞者を決定

国際教育センターが、11月29日付で今年度の国際交流賞の受賞者を発表した。受賞者は次の通り。

〈特賞〉
・夏井佑来さん（現代社会2）

〈奨励賞〉
・中川恭志さん（政治4）

夏井さんは日本とフィリピンの子供たちの交流を支援する活動を行った。子供たちに「家族」をテーマに絵を描いてもらい、それを交換することで彼らの交流を深めた。2年間に渡りこの活動に尽力したことを評価されての受賞となった。

中川さんは留学生に特化した就職支援情報誌『Japan Career』の編集を行った。『Japan Career』は、国内の留学生と海外で日本語を学ぶ人々の中で、日本の企業への就職希望者を対象に発行。今後、海外からの労働力を必要とする日本社会に貢献しようとしていることを評価された。

今回の受賞者の表彰作は来年1月7日から18日まで国際教育センターで公開される。なお、表彰式は12月中旬から下旬を予定している。（高島緑）

学長オフィスアワー

学長オフィスアワーが、12月19日に行われる。時間は午後12時半から午後2時となっている。対象は本学で学ぶすべての学生だ。場所は本館2階の学長室だ。参加希望者は学生証を持参して本館2階の学長秘書室を訪れる。

問い合わせは企画運営課（0422－37－3531）まで。

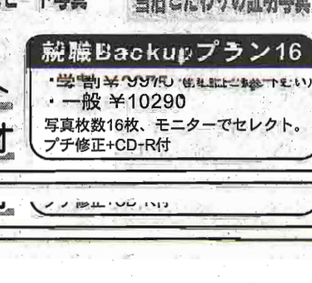
Message

私たちは今までたくさんの人々と出会ってきた。できれば卒業しても、その交友関係を大事にしていきたい。今年の最後を飾るのは同窓生団体「成蹊会」の田上尚道さん。

田上さんは常務理事として全国の同窓生同士の交流を手助けしている。それらを通して、学生には「友達を作ること」に力を入れてほしいという。実際に田上さんには学生のころから40年も付き合っている友人がいる。今でも気軽になんでも話し合える相手だそうだ。

田上さんは「社会に出るとなかなか親友と呼べる友人が作れなくなります。どうしても利害関係が生まれてしまいがちで。だから大学では心からの親友を作ってほしい」と語る。

卒業後、私たちは別々の道を歩む。それでも、その後もずっと付き合える友人の存在は、社会で大きな支えになることだろう。田上さんはそんな「友情」の大切さを教えてくれた。（佐藤遼平）



並木道

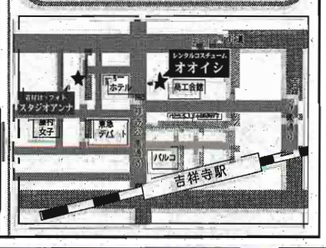
冬が深まる今日、就職活動についての声が聞こえる。「もうエントリーした？」、「自己分析しなきゃ」など。私も就職活動の真っ最中でセミナーに通う毎日だ▼先日のゼミで「何のために働きますか」というテーマを話し合った。私はまだ社会に出たくない、学生でいたいと思った。すると、ある人が「色々な経験をして視野を広げたい。多くの体験をすることは楽しい」と言った。はっとした。自分が知らないことを経験するのは、不安や恐れだけではないのかもしれない▼私は新聞会でスポーツ面を担当しているが、入部するまでスポーツとは縁のない生活を送っていた。ルールの分からない種目が多く、苦手意識もあった。しかしラグビーや漕艇などの観戦をするうちに、それまで知らなかったスポーツの面白さを知った。さらに選手たちへの取材で、その人の考え方や試合への意気込みを知ることができた▼勝つために努力を重ねる人々に出会うことで、昇格戦などで本学が勝利する姿を見ると、心から喜ぶ自分がいた。こうした思いはスポーツの取材を通さなければ、感じられなかったと思う。スポーツという知らない世界に飛び込んで、自分の新たな一面を知ることができた▼私はこれから、社会に出ていくための準備をしなければならない。それには、怯えや面倒だという気持ちもある。しかし、社会という未知の世界に触れることで、新たな自分を発見できるのならば、これからの就職活動も頑張ろうと思える。（太田彩香）

成蹊大学正門脇
けやき歯科医院
診療時間
AM9:30～PM1:00
PM3:00～PM6:30（平日）
PM2:30～PM6:00（土曜）
休診日
木曜・日曜
祝日
武蔵野市吉祥寺北町3－5－41
コーポけやき103
☎(0422)51－3386

卒業式の衣裳も
就活の証明写真も
吉祥寺第一ホテル前
オオイシ
ヘアアレンジもバリエーション豊富！
レンタルコスチュームから
着付・ヘアメイク・写真撮影まで
ご予約会開催中！
オオイシ本店で衣裳をご試着。
式当日の着付・ヘアメイク・写真撮影は、オオイシ直営のスタジオアンナで。
撮った写真はモニターでその場で確認できます。
（学内とはシステムが異なります）
成蹊生は卒業式関連　すべて10%OFF
はかま ¥6,300～11,550
きもの ¥10,500～33,600
そのほか草履・ブーツ・伊達衿・半巾帯レンタルあります。
◆オプション◆
着付 ¥6300　ヘアアレンジ ¥4725
メイク ¥3675　写真 ¥10500

証明写真は
Studio Anna
スタジオアンナで！！
ご予約制

ボックス写真　スピード写真　当店こだわりの証明写真
★即日渡し
★写真セレクト
★個室スタジオ
就職Backupプラン16
・学割 ¥9970（学生証ご提示下さい）
・一般 ¥10290
写真枚数16枚、モニターでセレクト。
プチ修正+CD-R付

お気軽にお問い合わせ下さい
レンタルコスチューム オオイシ
年中無休（12/29～1/3以外）
9:30～18:30
0422-22-0014
スタジオアンナ
水曜定休（12/29～1/3休み）
10:00～18:00
0422-27-6263


検証

本学に喫煙所は必要か？

『第2回学生生活実態調査報告書』によれば、本学の喫煙者は9・9％で、1割にも満たない。近年、社会では禁煙化が叫ばれている。そのような中で教育機関である本学に喫煙所は必要なのか。敷地内禁煙の可能性を探る。

（特集面取材班）

300人に聞く 学生の喫煙事情

本学の学生は「学内の喫煙状況」についてどのように考えているだろうか。本紙では学生に向けてアンケートを実施した。有効回答数は309人。そのうち男性が117人で女性は182人だ。

「あなたは喫煙しますか」の質問で、はいと答えた学生は26人で全体の8％。『学生生活実態調査報告書』の約10％とほぼ同様の結果となった。

「あなたは大学構内でたばこの煙を不快に思ったことがありますか」の問いでは、はいと答えた学生は172人で57％と多数。いいえと答えた111人を上回った。その理由として、「健康に悪い」（法律3・男）や「服や髪ににおいが移る」（現代社会1・女）など、煙自体が苦手という意見が多く上がった。

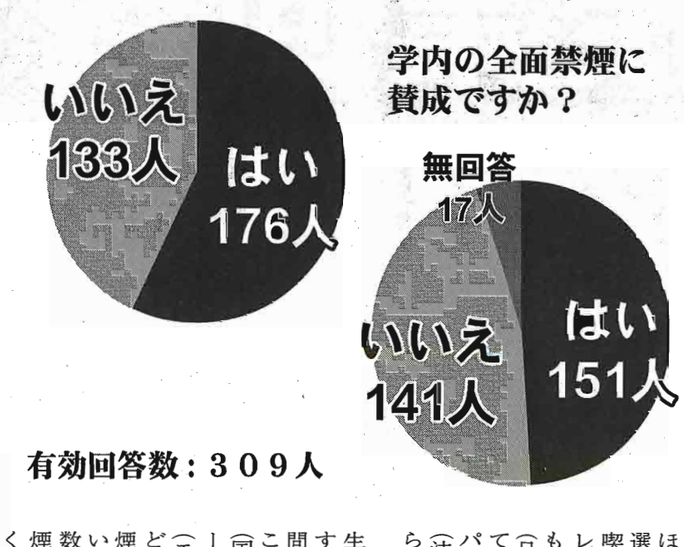
また、「3、8号館の扉を開けてすぐのところに喫煙所があり、出入りをする時に煙を吸い込んでしまう」（国際文化1・女）や「朝から正門を通ると煙いのは気分が悪い」（日本文2・男）など、喫煙所の位置に対する不満も多い。

「あなたは大学敷地内を全面禁煙にすることに賛成ですか」の質問では、賛成が148人で49％、反対は141人で46％とほぼ同数だった。賛成を選んだ理由として「受動喫煙をしたくない」（エレクトロ3・男）「社会も禁煙の傾向にある」（日本文3・男）「ポイ捨てもなくなって、キャンパスがきれいになる」（法律1・女）などが見られた。

一方、反対と答えた学生の理由は多様だ。喫煙する学生からは「個人の問題だから、大学がどうこうする問題ではない」（国際文化1・女）「マナーさえ守れば問題ない」（エレクトロ3・男）などが上がった。また、喫煙をしない学生は「かわいそう」という意見が多数を占める中、「全面禁煙は逆にマナー違反が多くなるのでは」（現代社会1・女）など喫煙マナーの悪化を心配する意見も見られた。

「あなたは学内で喫煙マナーの悪い学生を見たことがありますか」という問いでは、半数以上の55％があると回答。その多くが「喫煙所以外での歩きたばこ」と回答。時間帯については4、5時限後などが上がり、場所は駐輪所付近やベランダが多かった。

（田野辺裕史）



喫煙所の現状

現在、大学内の喫煙所は24カ所あり、屋外にのみ設置されている。それらのほとんどが建物の入口付近だ。そのためアンケートで「建物に出入りをする度に、喫煙所があって煙を吸ってしまう」と現在の喫煙所に対する不満が多く上がった。なぜ、本学は現在のような設置場所になったのか。その理由を学生生活課に聞いた。

本学の喫煙に対する取り組みは1996年から実施。屋内は全面禁煙、屋外も喫煙所以外を禁煙にすることで学内の分煙化を図った。しかしルールを守らずに屋内で喫煙する学生が多く、不徹底に終わってしまう。学生生活課は「段階を踏まず、いきなり屋内禁煙にしたことが原因だった」と語る。

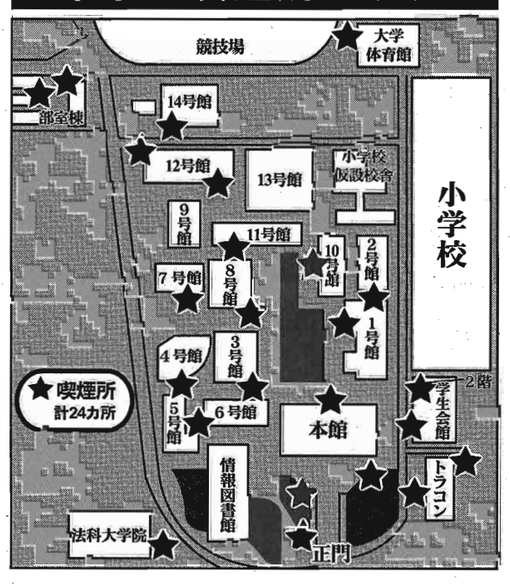
その後、99年に再び分煙化が見直され、3号館や8号館の各廊下にあるベンチやトラスコンガーデン、学生食堂など一部の屋内に喫煙所を設けた。それから徐々に屋内の喫煙所を廃止し、05年には屋内の全面禁煙が達成された。

このように屋内での禁煙が行われる一方、屋外に関してはほとんど対策がなされなかった。05年当時、喫煙所は64カ所もあり、その半数は建物の出入口にあった。学生生活課によると、入口付近に喫煙所を置いたのは、屋内に入る前にたばこを捨ててもらうのが目的だったという。その後06年に大幅な改革が行われた結果、半分以下の24カ所になった。しかし、入口付近の喫煙所の一部は撤廃を見送られた。

今後、大学側は学生の声や禁煙化へ向けた社会の流れを見ながら、分煙に取り組んでいくという。以前に比べると喫煙所の数は減っている。しかしアンケートで多くの不満が上がった以上、大学は喫煙所の位置を見直さなければならないだろう。

（権守仁紀）

本学の喫煙所エリア



本当に知ってる？たばこの害

たばこには害がある。この事実は誰でも知っていることだ。しかし具体的にどのような害があるのか、きちんと理解できているだろうか。

喫煙による健康被害で最も多い肺ガン。1日にたばこを10本吸うと、喫煙しない人と比べて肺ガンによる死亡率が4倍以上となる。さらに喫煙している期間も問題だ。若い時から喫煙するほど、肺ガンによる死亡率は上がる。未成年から喫煙した人は、成人後の場合と比べて1・5倍だ。

また喫煙することで肺などの呼吸器だけでなく、血管など循環器への影響もある。たばこの煙の中に含まれるニコチンは毒性の強い物質で、血管を収縮させる作用がある。このため、心筋梗塞や脳梗塞の恐れも。

さらに、喫煙は日常的な生活にまで影響を及ぼす。血の巡りが悪くなることで食欲の減退や、消化器の機能低下、肩こり、手足のしびれなどさまざまな症状が現れる。

また妊婦の場合、喫煙は胎児にまで害を与える。喫煙する妊婦からは、先天的に障害を持つ子どもの生まれる確率が喫煙していない場合よりも高くなる。それは、ニコチンが胎児への血液量を減少させるためだ。

こうしたことから、健康のことを考え、有害物質の量が少ないといわれるたばこに切り替える喫煙者もいる。しかし、有害物質が少ないからといって、期待した効果は得られない。理由は、たばこによる中毒症状のほか、機械が測定した有害物質の量と、実際に人が吸い込む量とは大きく異なる場合があるからだ。

またニコチン中毒者には、血中のニコチンの濃度を常に一定レベルに保とうとする力が働く。1本あたりに摂取できるニコチンの量が減ると、不足したニコチンを補うために自然に喫煙する本数が増える。その結果、体に入る有害物質の量は変わらなくなる。

喫煙によって、必ずガンや病気になるとは限らない。しかし、喫煙することで病気にかかる可能性は確実に高くなる。命を削るリスクを背負ってまで、たばこを吸い続ける意味はあるのだろうか。

（上川大地）

受動喫煙を防ぐ「分煙」とは？

世間では分煙が活発に行われるようになった。こうした動きの中で本学は喫煙に対してどのような対策をすればいいのか。国立保健医療科学院にある研究情報センター たばこ政策情報室の吉見逸郎さんに話を聞いた。

分煙は、公共の場所で他人への健康被害や不快感をなくすために周囲とは完全に分離した喫煙所を確保すること。その上で最も重要なのは受動喫煙の防止だ。受動喫煙とは、たばこを吸わない人が喫煙者の近くにいることで煙を吸い込んでしまう状態。受動喫煙で吸い込む煙は副流煙と呼ばれる。そこに含まれる発ガン性の有害物質は、たばこのフィルターを通して吸う主流煙と比べて2～4倍になるものも。

喫煙所を確保する際には、煙が漏れないこととこもらないことが求められる。これは喫煙者はもちろん、喫煙所にいない人までも漏れてきた煙を吸い込まないようにするためだ。このためには最低2メートル四方のスペースを確保しなくてはならない。また屋内では排気装置の設置が必要。

次に課題となるのが、喫煙所の位置だ。これに対し、厚生労働省では基本方針を提示している。それによると、不特定多数の人が集まる場所は原則として禁煙することが望ましい。大学では教室や食堂、図書館がこれに該当する。しかし、ほかの場所では施設の規模や構造、利用状況などで判断した分煙対策を求める内容にとどまっている。

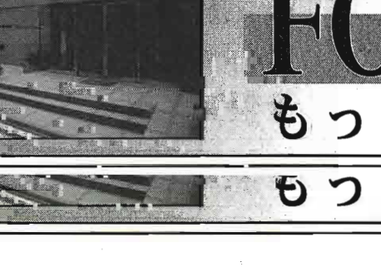
また学校では教育上の配慮がなされることが大切。特に未成年を対象とした教育を行う場合は十分な検討の下で喫煙所を設置すべきとしている。

だが、厚生労働省の提示内容は法律のような強制力を持っていない。また設備投資は自己負担しなくてはならず、分煙への対策は各機関に委任されているのが現状だ。

吉見さんは「たばこは個人の嗜好という捉え方が多いなどさまざまな理由から、分煙を徹底するのが難しい時もあった。大学ですぐにできるのが今の喫煙所をどこに配置するのかみんなで意見を出すこと。受動喫煙への対策や喫煙者の要望をまとめながら喫煙所の場所を考えてはどうでしょうか」と語った。

本学には同じ敷地内に小学生や中高生がいる。今後は大学には学生だけでなく、こうした人々のことも十分に考慮した喫煙所の配置をしなくてはならない。

（佐藤遼平）



他大学に聞く 全面禁煙の実状

近年は国公立や体育系、医療系を中心に敷地内を全面禁煙にする大学が増えてきた。そんな中、今回は敷地内全面禁煙を実施している大学2校に現状を聞くことにした。

1校目は兵庫県神戸市にある甲南大。私立の総合大学で、敷地内の全面禁煙を導入している例は珍しい。甲南大は05年に1カ月間、敷地内全面禁煙を試験的に行い、06年4月から本格的にスタートさせた。

甲南大が敷地内全面禁煙を始めた目的は大きく2つある。1つは、学内にいる未成年者の喫煙を防ぐこと。もう1つは、たばこの煙を嫌がる人のために、甲南大を「誰もが快適に過ごせる大学」にしていくためだ。甲南大では学内の清掃員の増員や、週に1回学生を交えてのゴミ拾いを行っている。構内をきれいにすることで、喫煙者を減らすのが狙いだ。

こうして始めた敷地内全面禁煙だが、同時に弊害も出ている。喫煙所が撤去されたために、学内のさまざまな場所で喫煙する学生が増えてしまったという。また敷地内でないからといって、門のすぐ外で喫煙する学生や教職員も多くなり、近隣住民からの苦情も増えている。

これらの現状を踏まえ、甲南大は「全面禁煙を徹底することは難しく、学内で未だに喫煙する学生もいる。マナーが悪くなり、規範意識も薄れている状態だ」と答えた。

次に聖徳大を紹介する。聖徳大は千葉県松戸市にある女子大学で、首都圏で敷地内全面禁煙を導入している数少ない大学の1つだ。敷地内全面禁煙は聖徳大ができる前からある聖徳短大が、1965年に開校したときから行っている。特徴として上げられるのは、学生の入学時から禁煙教育を徹底していることだ。

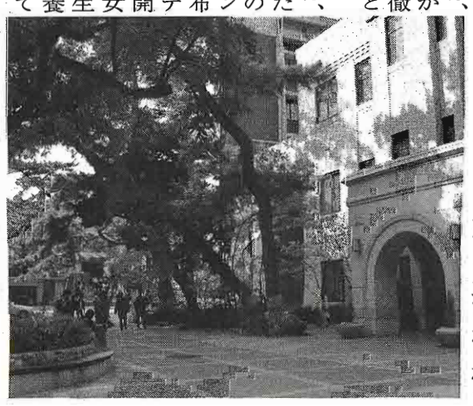
入学式では、保護者を含めた全員にたばこの害に関するパンフレットを配布し、オリエンテーションを開催。さらに「女性と子ども・生活」という教養科目を設置している。このような教育の成果もあり、喫煙する学生の割合が年々減っているという。

こうした一連の禁煙教育の中で聖徳大が気を付けているのは、なぜ喫煙がいけないのかについて学生自身に考えさせること。それによって、学生がたばこの有害性について十分に理解することができるからだ。たとえば学内で学生の喫煙が見つかったとき、ただ頭ごなしに叱るのでなく、その後の個別指導に力を入れている。

聖徳大が禁煙教育を徹底するのには「男性と女性は同権でも、同質ではない」という考えがあるからだという。実際、妊娠中に喫煙すると、先天的に障害をもった子どもを出産する確率が高くなるという。そうした点で聖徳大の禁煙教育は、卒業生がその後の人生を送るうえで非常に重要な役割を果たす。今や聖徳大では、「学園敷地内で喫煙はしない」ということが、学生の間で共通している認識だという。

今回、2校の大学を例として取り上げた。せっかくの敷地内全面禁煙も、守られなければ意味がない。ただ規則をつくるだけでなく、学生にたばこの害を十分に理解してもらえるように、大学側は努力していくことが大切なのではないだろうか。

（上川大地）


全面禁煙を実施する甲南大のキャンパス

取材後記

段階的な禁煙の実施を

アンケートにあったように、学内でたばこの煙を不快に思ったことがある学生は約6割。敷地内全面禁煙については約半数が賛成している。

また、受動喫煙における副流煙は喫煙者本人よりも害がある。本学には同じ敷地内に小学校があり、たくさんの小学生が構内を通行している。こうした状況で学内の喫煙が許されていることは、好ましい環境とは言えない。あらためて、敷地内全面禁煙が必要だと感じる。

しかし、学生の理解がないままに敷地内禁煙をしても意味がない。本学は96年に屋内全面禁煙を行ったが、マナーを守らない学生のために不徹底に終わってしまった。しかし、現在では屋内で喫煙をしている学生は見当たらない。それは喫煙所の位置を再考し、学生に理解を求めた上で段階的な禁煙を行ったからだ。

同じことは敷地内禁煙にも言えるだろう。その実現のために、まずは喫煙所の数を減らしてどうだろうか。最初に撤廃すべきはアンケートに上がった建物の入口にある喫煙所だ。ほかにも、正門脇のものは多くの人の通り道にあるため、早急に改善してほしい。

これらの喫煙所を減らすだけで、受動喫煙による害はぐっと抑えられるはず。こうした学生の声を実践していくことで、喫煙者と喫煙しない学生の両方に納得のいく禁煙ができるのではないだろうか。

（田野辺裕史）

突撃！隣のマナー違反

5時限後、辺りもすっかり暗くなってきた。アンケートによると、この時間帯にマナーを守らない学生が多く見られるらしい。マナーは喫煙する上で重要なはず。なぜマナーを守らないのか。その理由を探るべく、学内で張り込みを開始した。

始めてすぐ、掲示版付近で歩きたばこをする学生を発見！ 早速インタビューへ向かう。

―なぜ喫煙マナーを守らないんですか？

時間がもったいないんですよね。たばこを吸いながら歩けば時間の短縮になるし。授業の合間も短い。10分しかないって、歩きたばこしろって言ってるようなもんっすよ。

―喫煙マナーを破っているという罪悪感はありますか？

まぁ、ありますけど。でも、たばこを吸わないとイライラが止まんないんで。仕方ないじゃないっすか。法律で決まってるわけじゃないし。（エレクトロ2・男）

さらに、駐輪所でも歩きたばこをしている学生が！ すかさず声を掛けてみる。

―なぜ喫煙マナーを守らないのですか？

授業も終わって帰るところなんで。わざわざ喫煙所に行くのは面倒くさい。駐輪所に喫煙所があればいいんだけど。

―喫煙マナーを破っているという罪悪感はありますか？

たまにしかやってないし・・・。別に。吸い殻はきちんと灰皿へ捨ててるし、人は避けている。最低限のマナーは守っているつもり。罪悪感はないかな。（経済経営2・男）

なるほど。彼らにもいろいろな理由があるようだ。しかし、歩きたばこはほかの歩行者に火傷をさせてしまう危険が。また、吸い殻のポイ捨てによる火災の可能性もある。周りの人を傷つけないためにも、喫煙マナーはしっかり守ろう。

（田野辺裕史）

学生に突撃取材をする本紙記者

SATORI GROUP
Technology
Solution
Global
手を伸ばすと、指先に“未来”が触れた……。
挑戦する楽しさを、
やり遂げる喜びを分かち合いたい。
FORESIGHT
もっと先へ、もっと未来へ
会社概要
・設立　昭和22年
・資本金　26億800万円
・売上高（単体）　1134億5800万円
（連結）　2239億2800万円
・株式上場　平成15年　東証一部
・事業内容　電子部品・電子機器の販売及び、これらに付帯する事業
・関連会社
佐鳥エス・アイ・シー
佐鳥パイニックス
スター・エレクトロニクス
佐鳥エス・テック
台湾佐鳥
香港佐鳥
佐鳥貿易（上海）
韓国佐鳥
シンガポール佐鳥
佐鳥タイランド
佐鳥Ｅ－テクノロジー
佐鳥ドイツ
佐鳥パイニックスシンガポール
佐鳥パイニックスタイランド
佐鳥パイニックス香港
佐鳥エス・テック香港
佐鳥企業管理諮詢（深圳）
NEC販売特約店
佐鳥電機株式会社
http://www.satori.co.jp/
代表取締役社長　植田一敏（工業化学 昭和46年卒）

11月24日、25日の2日間にわたって第46回欅祭が開催！当日は天候にも恵まれ、多くの人が本学に訪れた。どの会場も例年以上の盛り上がりを見せ、各団体の展示や公演などが披露された。今号では、欅祭を完全ドキュメント！紙面上でもう1度振り返ってほしい。（文化面取材班）

欅祭本部イベント

▼ますだおかだお笑いLIVE

24日、4号館ホールにて開催されたお笑いLIVEは3部構成で行われた。第1部は若手芸人のヴェートーベンが漫才を披露し、第2部にメインのますだおかだが登場。

早速、岡田さんが持ちギャグの「ぱぁ」で会場を盛り上げた。増田さんも、コードレスマイクの形に対して「エアコンのリモコン？」「学長のヒゲそりか？」とテンポよくツッコミを入れ、観客の笑いを誘う。その後、岡田さんが浪人中に予備校に落ちた話をすると、会場は爆笑の渦に巻き込まれた。

第3部ではますだおかだとヴェートーベンによるゲームを開催。岡田さんが観客から一人を指名し、一文字のひらがなを言ってもらう。その文字を一言目に使い、ほかの3人が即興でコントを作るというもの。指名された小学生が「ぬ」や「ら」など、セリフにしにくい言葉を連発し、3人は悪戦苦闘。「ぬ」のお題では増田さんが「ヌードでロリコンの学長や！」と際どい発言をし、観客は大爆笑。終始、笑いの絶えないお笑いLIVEとなった。（淵上健太）

▼運命のルーレット廻して　白熱！400人すごろく!!

欅祭のメインイベントが25日に5号館102教室で行われた。今回のビンゴはファーストステージとセカンドステージの2部構成だ。

ファーストステージでは、くじで選ばれた人の掛け声でスクリーン上のさいころがストップ。キャラクターの「すごろくん」がその数だけすごろく上を移動し、止まったマスのビンゴの番号を発表する。また、「賞品GETマス」というボーナスマスや、ビンゴした人がさいころを回し、出た番号の人に賞品が当る「ケヤキ宝くじ」などの企画もあった。

セカンドステージは、グアム旅行をかけた真剣勝負。ルールはファーストステージと同じだが、ビンゴになっても5本の傘の中から当たりの傘を選ばなければ賞品をゲットできない。4人目の挑戦者が当たりの傘を開くと、会場からは大きな拍手が送られた。（柴あつみ）

文化団体イベント

▼DANCE TEAM JAM［z］

欅祭公演「JAMUNNJI」が2日間、4号館ホールと本館前にて開催された。今回は映画「JUMANJI」をパロディした自作の映像を制作。それに合わせて14のダンスショーを展開した。

4年生で構成された「★JAMZY LAND★へようこそ」では、ミッキーやアラジンなどに扮した衣装で可憐なダンスを披露。動作や仕草にまでこだわりが見られ、笑顔で踊るダンサーに歓声が上がった。

また昨年に引き続き、国際協力サークルM.I.X.と共同で、公演後に募金活動を行った。集まった約7万円はカンボジアの子どもたちを支援する「かものはしプロジェクト」に寄付される。

▼管弦楽団

「オータムコンサート」が25日に4号館ホールで行われた。コンサートは2部構成で1部は吹奏楽、2部は弦楽器を加えたオーケストラ。

1部では2曲目に「風の舞い」を演奏。これは葛飾北斎の浮世絵をイメージした曲で、洋式の小太鼓を和太鼓風に叩くことにより、日本的な雰囲気を感じさせた。

2部ではワーグナーの「タンホイザー」、「シンコペーテッドクロック」といった本格的なクラシックの楽曲を演奏した。さらに「ハウルの動く城」のテーマ曲など親しみやすい曲もあり、バラエティーに富んだ構成だった。また最後の「ラデツキー行進曲」では軽快なリズムに合わせて、観客から手拍子が起こり、会場を大いに盛り上げた。

▼中庭ステージライブ

「中庭ステージLIVE2007」が2日間にわたって開催された。出演は100以上のバンドから選ばれた24団体。

1日目には、FSSの「jutta en 大川哲平」がフルハウスのオープニングテーマ「Everywhere You Look」をジャズ風にアレンジ。透明感のある歌声とクラシカルなギターで会場を和やかなムードで包み込んだ。

異色だったのは2日目に登場したAMPの「民謡」。高崎哲臣さん（物質生命2）は黒い袴姿で三味線を披露した。北海道民謡や、「戦場のメリークリスマス」「春よ、来い」などをギターやドラムを交えて演奏した。

▼RISE

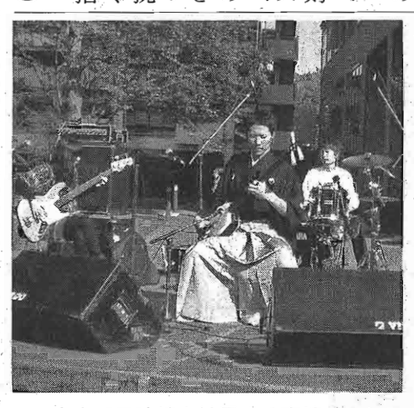
欅祭公演「Girls」が2日間にわたり、4号館ホールにて開催された。RISEは女性のみで結成されたダンスサークルで、今回で4度目の公演になる。ダンスショーは全部で9ステージ。ヒップホップやジャズなどさまざまなジャンルのダンスを、タキシードやドレスの衣装で踊った。

5番目の「Innocent Girl」というダンスは1年生のみで作られた。始めにアップテンポな曲に合わせて元気に踊り、女の子らしさを表現。次は1曲目とは打って変わってゆっくりしたテンポのR&Bに乗せて、落ち着いた優雅なダンスで大人の女性を演じた。衣装も1曲目と2曲目で、カラフルで派手なものと落ち着いた色のものを着分けて、外見の変化も工夫した。

▼劇団円想者

25日、4号館ホールにて欅祭公演「千年藤の咲く頃に」が行われた。内容は、初音という一人の女性が現世の明治時代と前世の平安時代を行き来する中で、自分の胸の内に秘められた想いに気付くというもの。現在と過去で別々の話が同時進行する複雑なストーリーを、照明と衣装を変えることでうまく表現した。

主人公の初音役の仲田まりえさん（日本文1）は、明治時代の勝ち気な女性、平安時代のおっとりしたお姫様の2役を演じた。言葉使いと身のこなしを細かく使い分け、対照的な性格の2人の女性を見事に演じきった。（柴あつみ・淵上健太）


中庭で三味線を披露する高崎さん

元気いっぱい鮮やかなRISEダンスショー

展示・発表・表彰団体の決定

▼デザイン研究部

「展卵会」が5号館201教室で行われた。テーマは「E.G.G.」で、毎年恒例のファッションショーに加え、自作の絵本やアクセサリーなどを展示。またポストカードの販売も行った。

ファッションショー「卵 to break FIGHT!」はRPG風の映像とショーを組み合わた作品。ストーリーは主人公が自分探しの旅に出るというもの。そこで出会う魔女や武器商人に、自分たちのイメージした衣装を着せて登場させた。また紙で作られた立体の巨大な卵に来訪者がヒビを書き込み、作品を完成させるなどユニークな展示で人々を楽しませた。

▼写真部

「欅祭写真展」が学生会館306、307、309教室で開催された。今回はテーマを決めずに、部員が自由に作品を制作。約90枚の個性豊かな写真が並んだ。

相原優里さん（現代社会1）の「ラストシーン」では、たばこを吸う男性の横顔をわざとピントをずらして撮影。男性の不安と興奮で揺れ動く複雑な内面を、目に見える形で表現した。

また、写真集も多く展示された。沼田麻菜さん（国際文化3）は「たからもの」と題して、亡くなった愛犬の写真に詩を添えた。犬が元気に走る様子などを載せ、いなくなってしまった悲しさや大切に思っていた気持ちを詩に表した。

▼SEIKEI Formula Team

11号館階下にて、自作のレーシングカーを公開。この団体は工学部の研究室から有志で結成された。レース時の写真や、レーシングカーを作る過程を図式で説明し、日頃の活動を発表した。

また14号館前の広場で、実際にレーシングカーを走行。これは9月に行われた「第5回全日本学生フォーミュラー大会」で新人賞3位を取った時のものだ。ドライバーは公式ユニフォームに身を包み、高いエンジン音を響かせながら広場を4周した。その本格的な走りに観客からは歓声が上がった。（柴あつみ・淵上健太）

◆欅祭本部企画「OPEN THE 宝箱」

スタンプラリーとともに行った展示団体人気投票の結果は以下の通り。

1位　FAC電子計算機研究会
2位　マジシャンズクラブ
3位　書道部

映像とファッションのコラボ

欅祭を振り返って

今年は連日ともに暖かく、約2万人もの観客が来場し、学内はにぎわいを見せた。また今年は性同一性障害について公演を行った「FtoM」や自作のベロア素材の服を展示した「ベロア研究会」など有志の団体の参加が多かった。そのため展示の出展数が昨年より6団体も増えた。公演やショーなども大盛況で、活気ある学園祭となったのではないか。

今回の欅祭は日程が1日減り、2日間の開催となった。参加団体からは、「特に変わらない」「集中できる」といった声も聞かれたが、ほとんどの団体からは不満が上がった。「寂しい」「せっかく頑張って展示したのに見てもらえる機会が減ってしまった」「売り上げが心配」など、3日間の方がよかったという意見が大半だった。

特に4号館ホールを使用した団体は、公演回数が1回ずつ減ってしまった。時間帯も午後7時からと遅くなった公演もあり、この日のために練習してきた団体にとっては、非常に悔しい思いをしたのではないだろうか。「リハーサルや準備を十分に行えなかった」など、2日間の開催に本部も団体側も対応しきれていないように感じた。来年は4号館とは別にホールを用意するなど、何か対策が必要だろう。

授業数確保のために、大学側は欅祭の短縮に踏み切ったが、こうした参加団体の声をきちんと聞いてくれているのだろうか。大学の都合で、学生の文化活動が妨げられては意味がない。大学側には、こうした声を真摯に受け止めてほしいと思う。（細野晴香）

欅祭表彰団体

第46回欅祭展示表彰団体は以下の13団体。

〈学長賞〉
・Seikei Fair Friends

〈学生部長賞〉
・管弦楽団

〈欅祭本部委員長賞〉
・書道部

〈優良賞〉
・太田ゼミ
・法学研究会
・SEIKEI Formula Team
・應援指導部

〈奨励賞〉
・写真部
・国際協力サークルM.I.X.
・地理研究部
・DANCE TEAM JAM［z］
・コンパルサウンズジャズオーケストラ
・馬術部

NEW FACE

今年、初めて出展する団体を紹介するこのコーナー。その中でも特に盛況だった2団体に注目したい！

▼学生環境委員会「桃球」

1号館ロビーで開催された「エコこち展」。来場数は700人も！桃球は学生の視点から環境問題を考えることを目的としている。

そこで、馬術部やライフセービング部など7団体と協賛。馬糞の再利用や海での清掃活動など、団体の意外な環境問題への取り組みを展示した。さらに学生と教職員100人の環境への思いを写真付きで発表。体験コーナーやクイズなどもあり環境問題を楽しく学べるように工夫した。

浅井めぐみさん（政治3）は「来てくれた人からは『もっと環境について勉強したい』と前向きな声が聞けて、よかった。これからも環境問題を多くの人に知ってほしいですね」と話した。

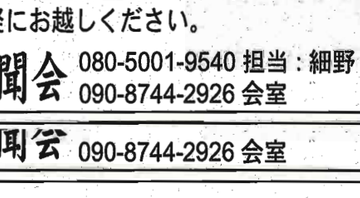
▼Seikei Fair Friends

2号館307教室に、フェアトレードコーヒーや紅茶が飲めるカフェが登場した！

この団体は寺田恵美さん（国際文化4）を中心に、学内でフェアトレードコーヒーの試飲会などを行ってきた。フェアトレードは、途上国の原料や製品を適正な価格で交易することで、生産者の生活の向上を目指している。出展したのは学生だけでなく、一般の人にもフェアトレードを知ってもらいたかったから。

カフェでは、フェアトレードコーヒーやクッキーを試食できる。商品の手配や値段交渉がうまくいかない部分もあったというが、カフェには多くの人が訪れ、大繁盛。さらに自作の冊子やビデオを展示。訪れた人々がゆったりと楽しみながら、フェアトレードを理解できるようにした。

寺田さんは欅祭を終えて、「売り上げも10万円を達成し、大勢の人にフェアトレードのよさを感じてもらえたと思います」と語った。（細野晴香）



フェアトレードを広めるカフェ

私の見た世界　挾本 佳代 准教授

外の世界を見て大学の良さを知った

ここでは大学の先生が経験し、見てきた世界を語ってもらう。今回は経済学部の挾本（はさもと）佳代准教授。先生は大学を卒業後、『週刊新潮』の記者として日夜忙しい毎日を送ったそうだ。まさにリアル「働きマン」！　そんな挾本先生は、マスコミの現場でどのようなことを感じ、体験したのだろうか。

◇　◇　◇

出版社にどうしても入りたくて、新潮社に入ったんです。そこで『週刊新潮』の記者を3年ほど経験しました。私はコラム担当で、企業の社長さんや芸能人に取材するのですが、多忙な人が多いのでアポを取るのが本当に大変でしたね。はじめは記事もうまく書けなかったし、つらかった。

今、安野モヨコさんの『働きマン』（講談社）ってドラマ化して注目されてますよね。あれは、すごくよく分かる。夜中と言わず朝まで仕事することなんかしょっちゅうでしたから。本当にまともな休みはありませんでした。張り込みをする記者なんてゴミ箱に入って1日中張り込んだりするんですよ。でも大変な分、やりがいもあった。たとえば社長さんに「書いてくれてありがとう」って言われた時は、嬉しかったですね。

だけど記者の仕事には本当にシビアな面もあります。『働きマン』の中に政治家の不正を暴くという話があるけれど、本当はそんな綺麗ごとじゃない。『週刊新潮』の記事のせいで首相が退陣したこともありますし、殺人事件の取材で犯人の家族が自殺したこともあります。私もある女優さんの離婚の噂を大きな特集にしたことがありました。その時に、こんなことを記者が聞くのは余計なお世話だと思いましたね。そんな編集部の空気を肌で感じ、人間の大切な部分を失ってしまう気がしたんです。だから、もう辞めようって思いましたね。

それで新潮社を退社して、大学院に入ることにしました。それは、ある大学の先生に出会ったからです。その人は自分の興味のあることを深く研究され、自分の時間を優雅に使っていて、いいなって思いました。記者の忙しさを経験したから、余計にね。だから大学院に入れた1年目って本当に嬉しかったですよ。

私は大学とは違う外の世界を一度見たからだと思うのですが、勉強することや大学にいる時間の大切さをすごく感じます。学生のみなさんは、恵まれた環境にいますよね。就職したら、こういう自分の時間ってほとんどありません。だからこそ、今しかできないことをした方がいい。せっかく立派な図書館があるのだし、もっと勉強したらいいですよ。まぁ私も学生の時は、しなかったんだけど（笑）。だから学生の皆さんにはそうしてほしいです。

◇　◇　◇

時間は無限のように感じるけれど、大学4年間はやっぱり短い。この限りある時間の中で、私たちはどれだけ多くのことを経験し、学べるのだろう。今しかできないことを精一杯やって、あとで胸を張れるような、そんな学生生活を送っていきたい。（細野晴香）

挾本先生の研究室にて

《略歴》

1988年津田塾大学を卒業後、新潮社に入社。92年に同社を退社し、94年に法政大学大学院に入学。00年には法政大学大学院博士過程を修了し、03年より本学経済学部の専任教員となる。

デスクより

■新聞会人事

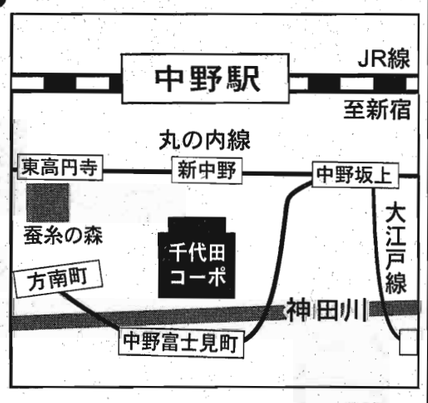
成蹊大学新聞会の次期会長・編集長が11月15日の役員選挙で選出されました。任期は08年1月1日から同年12月31日まで。新人事は以下の通りです。

・会長（発行人）
田野辺裕史（日本文2）
・編集長（編集人）
淵上健太（日本文2）

■情報募集

大会・イベントの予定や結果などの情報を募集しております。seikeipress@hotmail.comか090−8744−2926（部室直通）まで、もしくは西部室2−204に直接お持ちください。

成蹊大学新聞は学生が自主的に発行している新聞です。取材・編集・発行に関するすべての責任は成蹊大学新聞会に属します。次号は4月上旬発行予定です。

千代田コーポ
社会人になったら
交通アクセス抜群！
構造　鉄筋コンクリート
6階建（エレベーター完備）
完成　昭和43年（内覧は下記まで）
面積　広々32㎡（室内リフォーム済）
賃料　80,000円〜
太陽いっぱいの快適な部屋です
詳細はTEL03-3583-5375まで♥


丸の内線　新中野より11分
中野富士見町より4分

大手Y新聞社、H広告会社に内定者が続出！！
あなたもマスコミの扉に手が届く
部員募集中
①取材記者
②制作（パソコン）担当
③カメラマン
未経験者も大歓迎★
部会（月・木12：30〜）を西部室棟2-204で行ってます。気軽にお越しください。
成蹊大学新聞会　080-5001-9540 担当：細野　090-8744-2926 会室

紀伊國屋書店
成蹊学園ブックセンター
学生生活をバックアップ！！
書籍・雑誌・文具・お菓子・コピー
成蹊オリジナルグッズ・各種受付　他
TEL:0422-36-0360
営業時間:10時〜17時

1部昇格

快挙！ラクロス部男子

ディフェンスをかわし攻め込む池川選手

関東学生ラクロス連盟男子2部リーグ戦が8月20日から11月11日にかけて行われた。本学ラクロス部男子はAブロックを4勝1分で1位通過。1部Bブロックで6位の立教大との入れ替え戦に挑んだ。その結果、11－6で立教大を下し1部昇格を果たした。

リーグ戦は1部と2部ともにA・Bブロックに分かれ、各ブロック上位2チームと下位2チームとが1部2部入れ替え戦となる。本学は、11月25日の東洋大学朝霞キャンパスでの入れ替え戦で、11－6となり立教大に勝利。3年ぶりに1部昇格となった。なお試合は1クォーターが20分の4クォーター制。

【2部Aブロックリーグ戦結果】
○11－8　対駒澤大
○11－5　対上智大
△10－10　対東京農業大
○11－10　対学習院大
○8－4　対東海大

【1部2部入れ替え戦結果】
○11－6　対立教大

第1クォーターでは、開始1分に金澤翔太選手（経済経営2）がシュートを決めて1－0と先制する。だが4分に立教大もシュートを入れ、1－1の同点となる。しかし、6分に沢田陽由馬選手（法律4）からのパスが原泰裕主将（英米文4）に繋がる。そのまま原主将がゴールを決めて、2－1にすると、10分にも得点。3－1で第1クォーターを終え、幸先のよいスタートとなった。

第2クォーターでは、開始すぐに塚田哲也選手（情報科3）からのパスを受けて、佐藤雅也選手（経済経営3）がゴールを決め4－1とする。これで勢いに乗った本学は、その後も得点を重ね、6－1と引き離す。さらに、塚田選手を起点として、続々とアタッカーにパスを送り攻撃の手を緩めない。最後は再び、佐藤選手がディフェンスの合間を縫い得点。7－1で前半を折り返した。

第3クォーターでは、序盤に本学がシュートを入れて8－1とする。しかし9分に立教大がタイムアウトを取ると、続けざまに点を奪われ8－4とされる。さらに19分には本学のシュートが外れると、立教大に速攻での得点を許し、8－5で第3クォーターを終えた。

第4クォーターでは本学は、相手陣地まで攻め込むものの、ディフェンダーに阻まれる。ここから立教大にボールを拾われ、反撃される。開始4分に1点を追加され8－6と点差を詰められる。だが、6分に伊藤淳史選手（国際文化3）がゴール正面からのシュートで、9－6とする。

続く8分には、池川健選手（経済経営3）がディフェンスをかわしつつシュートし、スコアを10－6に。12分には再び、池川選手がゴール右側からのシュートで11－6と相手を引き離す。終盤には立教大にゴール手前まで攻められるが、シュートを入れさせない。そのまま本学は5点差を守りきり、1部昇格を果たした。

試合を終え、原主将は「周りからの期待も大きい分、プレッシャーもありました。そんな中で、1部に昇格できたのは本当に嬉しいです」と喜びを語った。（太田彩香）

ラグビー部　Aリーグで青山学院大に勝利

関東大学対抗戦Aグループ（1部）秋季リーグが、9月8日から12月2日にかけて行われた。本学ラグビー部は、11月24日に江戸川区陸上競技場にて、青山学院大と対戦し19－7で勝利。強豪がそろうAリーグで念願の1勝を果たした。

その結果、本学はリーグ戦を1勝6敗で終え、Bグループ2位の学習院大と、残留をかけて1部2部入れ替え戦に挑んだ。入れ替え戦は12月8日に熊谷ラグビー場にて行われた。

（※新聞制作の都合上、締め切りが12月6日だったため、入れ替え戦の結果は来年4月号に掲載します）

【リーグ戦試合結果】
●5－108　対早稲田大
●3－80　対帝京大
●0－86　対明治大
●9－40　対日本体育大
●14－18　対筑波大
○19－7　対青山学院大
●7－19　対慶應義塾大

試合は、前半3分に青山学院大にトライ（5点）を奪われる。続くゴールキック（2点）も入れられ、0－7と厳しい立ち上がりになった。

本学も23分には、細かいパス回しで相手陣地まで攻め込む。だが青山学院大の堅い守りの前に、あと一歩のところでトライを決められない。終盤まで相手陣地に深く切り込んでいくものの0－7とリードを許して、前半を折り返すことになった。

相手陣地にボールを運ぶ大庭雄太選手（経済経営3）

だが後半の6分にラインアウトでボールを得ると、柳瀬晃佑選手（法律4）がタックルを受けつつもトライ。5－7とする。14分には、青山学院大のファールから相手陣地のゴールライン手前での混戦にもつれ込む。ここを本学が押し切り、池田元選手（エレクトロ2）がトライを決める。さらに、藤巻淫平選手（法律3）がゴールキックを入れて12－7と逆転し、本学が流れを引き寄せる。25分にはコート中央の突破を試みる青山学院大を、信田泰宏選手（経済経営1）がタックルで倒して5点差を守り切る。

39分には、相手陣地のゴールライン手前での攻防。その場面で本学が競り勝ち、最後は永井貴也選手（法律4）がトライを奪う。続くゴールキックを、藤巻選手が決め19－7とした。その直後、試合が終了。本学が22年ぶりに青山学院大を下し、勝利を飾った。

試合を終えて、土井内竜主将（英米文4）は「Aリーグで戦うのは、チーム全体の夢でした。接戦でしたが、それだけに1勝という結果を残せて、とても嬉しいです」と語った。（太田彩香）

バレーボール部男子　6年連続の昇格で4部へ

秋季関東大学男子5部リーグ戦が、9月17日から10月14日まで行われた。本学バレーボール部男子はリーグ戦で2位となり、4部5部入れ替え戦に進出。10月27日に順天堂大学で行われた入れ替え戦では4部7位の東京大と対戦。本学はセット数3－2で勝利し、創部初となる6年連続での4部昇格を果たした。

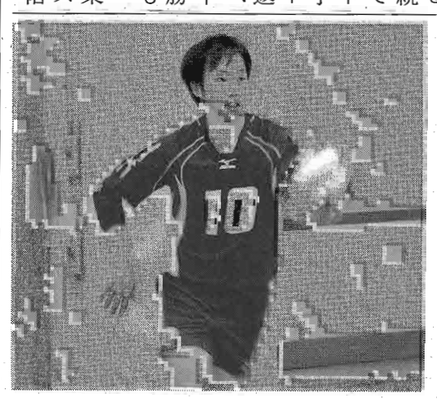
【4部5部入れ替え戦結果】
○3－2対東京大

試合は、第1セットを25－19で本学が先取。続く第2セットは18－25で失うものの、第3セットはリベロの渡辺和弥選手（現代社会3）がラリーで粘り、26－24と奪い返す。だが第4セットは、本学のミスが重なり19－25で落としてしまう。勝敗は第5セットへと、もつれ込んだ。

セット序盤、本学は染谷実選手（法律4）がスパイクで先制。中川圭祐主将（経済経営4）のスパイクも決まり、続けざまにポイントを入れて4－0とリードする。しかし、東京大にスパイクを決められ6－4まで追い詰められる。

だが再び中川主将がスパイクで点を得ると、千葉健太選手（法律4）も得点。10－5とリードを保つ。また染谷選手がブロックでも活躍。東京大のスパイクを防ぎ、点を得て12－7とする。さらに東京大のスパイクのミスが続き、スコアが14－7となる。その後は、1点を取られるものの、最後は染谷選手のスパイクが決まる。スコアを15－8とし4部昇格となった。

中川主将は「リーグ戦では、常に強さで攻めていきました。その気持ちが、今回の昇格につながったと思います」と振り返った。（太田彩香・浅野一歩）



的確なサーブを放つ千葉選手

ヨット部　2年続けて全日本で健闘

第72回全日本学生ヨット選手権大会が、10月31日から11月4日にかけて琵琶湖の柳ヶ崎沖にて行われた。本学ヨット部は2年連続でスナイプ級に出場し、19位と健闘。今大会は24大学から3艇ずつの72艇が参加し、3艇の合計点の低い方から順位が決まる。

第1レースは、ほとんど風が吹かない厳しいコンディション。本学はすべての艇がタイムアウトとなってしまう。続く第2レースでも、フライングによる加点で合計を403点とし最下位へ。

だが第3レースでは、仁井谷裕樹主将（経済経営4）・吉田真奈美選手（国際文化3）が活躍。序盤で20番台を維持すると、中盤も風を捉えて勢いに乗り、コース上のブイを次々とターンしていく。終盤では、順位を落とすものの30位でゴールした。本学は、ほかの2艇の順位と合わせ、544点で20位に浮上。21位の関東学院大と1点差の接戦となった。

最後の第4レース。仁井谷・吉田ペアは、スタート時点で60位と出遅れる。しかし風が吹くコースを選び、1つ目のブイをターンした時点で30番台まで追い上げる。中盤でもコース選びに成功。セール（帆）に風を的確に当て、順位を上げていく。さらにゴール直前に7艇を追い越し、20位でフィニッシュ。本学はスコアを651点とし、総合19位で大会を終えた。

大会を振り返って、仁井谷主将は「全日本で戦えて、大学生活に悔いはありません。後輩にとってもよい経験になったと思います」と語った。（太田彩香）

体育会優秀団体　優秀個人賞発表

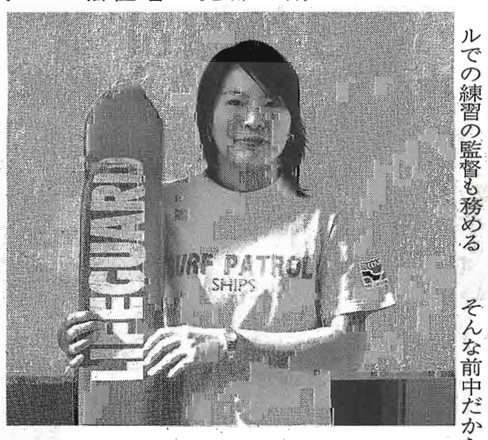
今年度体育会優秀団体賞、優秀個人賞が12月4日に発表された。

【優秀団体賞】
・アーチェリークラブ（女子）
関東学生アーチェリー連盟リーグ1部昇格
・軟式庭球部（女子）
関東学生ソフトテニス連盟リーグ3部昇格
・バレーボール部（男子）
関東大学バレーボール連盟リーグ4部昇格
・理工学部バスケットボール部
関東大学理工系バスケットボール連盟リーグ3部昇格

【優秀個人賞】
・岡野彩選手（経済経営3）
ライフセービング部
全日本種目別選手権スキーレースの部で第5位
全日本選手権大会スキーレースの部で第3位
全日本強化指定選手に選出
・高橋真理選手（経済経営4）
漕艇部
全日本選手権大会女子シングルスカル8位入賞
・池川健選手（経済経営3）
ラクロス部男子
U－21日本代表に選出
・金澤翔太選手（経済経営2）
ラクロス部男子
U－21日本代表に選出
・塚田哲也選手（情報科3）
ラクロス部男子
U－21日本代表に選出

INSIDE

命を守るスポーツにかけた4年間



ライフセービング部　前中美帆選手

どんな高い波にも怯まず人命救助に挑んだ女性がいる。ライフセービング部の前中美帆（政治4）だ。前中は、在部中に体育会優秀個人賞に選出され、団体では全日本学生選手権大会で総合7位の成績を残した。

前中は高校時代までは競泳に力を入れていた。中学では関東中学校水泳競技大会で入賞、高校では団体でインターハイに出場と華々しい経歴を持つ。そんな前中が大学で出会ったのが、ライフセービングだった。明るい部の雰囲気が気に入り、入部を決める。だが、すぐに行われた春合宿で前中は、自然の厳しさを目の当たりにする。その時の体験を「屋根のあるプールと海の違いを感じました。寒くて泳ぎにくくて最初は、つらかったですね」と語る。

そんな前中がなぜライフセービングを続けようと思ったのか。それは1年の夏に海でのパトロールに参加した時だ。最初は右も左も分からなかったが、仲間と協力していくうちに自分が必要とされていると感じた。「このときに4年間、ここをホームにしてやるんだという覚悟ができましたね」と晴れやかに語る。

前中は夏のパトロール期間中は、朝5時に起床して自主練に励んだ。さらに部での練習に加え、合間を見つけては、スポーツクラブでトレーニングと技術を磨いていった。このまま一直線にライフセービングの活動に突き進んでいくかのように見えた。

だが1年生の2月に、手首を骨折。リハビリを行ったが思うように回復しなかったため、海での練習はもちろんプールでの練習にも参加できずに焦りが募った。部へも足が遠のき、一時期は辞めることも考えた。しかし、仲間からの励ましもあり3カ月後には完治。2年に進級していた前中は競泳での経験を生かし、プールでの練習の監督も務めるようになる。

さらに3年になってからの夏のパトロールでは、サブ・チーフも経験。これらの出来事を通して、前中の胸中に生まれたことがある。「水泳は自分が1位になるためにする競技。ライフは1位になるだけじゃなくて、人の役に立つ喜びを教えてくれる」ということだ。

そんな前中だからこそ、命の危険を顧みず挑めたことがある。それは4年の夏のパトロール中でのこと。台風の影響で50人以上が、沖に流されてしまうという事態が起こった。前中は仲間とともに救助に向かう。「その時は、無我夢中でしたね。流れが速くて波にのまれそうにもなったけど、溺れている人がいる限り、絶対に助けようと思いました」と語る。全員を救助し終わったときには、前中はどんな波にも向かっていける心の強さを得ていた。

さらに競技でも、部の中心となり活躍。今年の全日本学生選手権大会では、創部初となる女子団体総合7位に導いた。

前中は来年の春に卒業する。ライフセービング部で、さまざまな困難を乗り越えた前中なら、これからの社会の荒波にも立ち向かっていけるだろう。【文中敬称略】（太田彩香）

欅祭リーダー公開　大舞台で熱演

應援指導部リーダー公開が、欅祭2日目の11月25日に中庭アトリオの特設ステージで行われた。当日は寒空の下、多くの観客が集まった。

1曲目は、「はじめてのチュウ」の英語版。曲に合わせて4人で足場を作り、その上に乗った1人をジャンプさせる技が決まると、観客から大きな歓声が上がった。次の曲では3段組みのタワーを作り、一番上の人が片足でバランスを取る技が成功。会場を沸かせた。続いて、1年生と今回をもって引退する4年生とがペアを組む演技。「YMCA」の曲とともに、金のボンボンでテンポよくリズムを取りながら、息の合ったダンスを見せた。

さらに、12月に開催される全日本学生チアリーディング選手権で行う演技も発表。赤と黒のボンボンを持ち「Let's go SEIKEI No. 1」という掛け声とともに、ダンスや技を繰り出していく。特にSEIKEIと書かれた大きな旗をバックに3人が1人を支えるタワーが2つ作られたときは、会場から大きな拍手が送られた。

後半は、リーダー部の西尾尊さん（日本文2）が登場。「若草薫る」では太鼓の音に合わせて、大きく腕を振り迫力の演技を見せた。最後は「校歌」を應援指導部と観客が、一丸となって斉唱しリーダー公開を締めくくった。

小林歩実主将（英米文4）は「欅祭の舞台で引退することができ幸せです。多くの人に支えられた、4年間でした」と思いを語った。（浅野一歩）

旗をバックに技を決めるチアリーダー部

2009年卒業予定のみなさまへ

リクルート主催
就活イベント開催！

リクナビ2009　検索

一人ひとりにとってのいい就職を、どこまでも応援します。

リクナビ2009　http://2009.rikunabi.com/

リクナビ上で、事前予約受付中！
参加企業や企画内容などイベントの詳細は、リクナビ2009でご確認ください。

先輩社員に、何でも聞いてみよう！
リクナビ×トークLIVE
先輩社員と話して、やりたい仕事・未来のジブンが見つかる“合同OB・OG訪問”
2007年12月18日（火）・19日（水）
10:00～18:00
@東京ビッグサイト

女子学生のための、就活イベント
ジョシ♥café
1月15日は、100人の働く先輩女性たちとナイショバナシの日
2008年1月15日（火）
10:30～18:00
@六本木ヒルズ（アカデミーヒルズ40）

就活本番！共感・実感・体感の合同会社説明会
リクナビ LIVE
会場の採用担当者と直接話せる就活直結型の大イベント
2008年2月10日（日）・11日（月）
10:00～18:00
@東京ビッグサイト